

に入れてい」と話す。今回の出資で森トラストはロイヤルホテルのブランド力や運営ノウハウの取り込みを狙っている。

億円を予定している。

ATC黒字化 3年前倒し

今年度、大阪市見通し第三セクター、アジア太平洋トレードセンター

(ATC、住之江区)について、二〇〇四年の特定調停時に策定した事業目標より三年早く、〇六年度に当期損益が黒字化するとの収支見通しを公表した。三十一日の市特定団体経営監視委員会で明らかにした。

見通しによると、〇五年度決算で減損会計を導入し、土地・建物の資産簿価を七百九十三億円から二百六十四億円に減額することで減価償却費を圧縮。〇五年度の当期損益は五百四十億三千六百万円の赤字だが、〇六年度は九億七千九百万円の黒字になると見込んでいる。

ており、大阪市OBの佐々木伸会長も六月末で退任する見通し。関淳一市長は「(GSと日本政策投資銀行の)両社が積極的に経営に関与するとの意向が示され、好ましいと受け止めている」とのコメントを発表した。

日本経済新聞

2006年(平成18年)4月1日(土曜日)

中国の新工場きょう操業

■インテリア・家具用部品を製造する向陽技研(堺市、山下雅伸社長) 中国・東莞市に工場を開設一日に操業を始める。初の海外製造拠点となる。同社は座すの背もたれ調節金具の

市場占有率が世界首位。中国向け輸出が生産量の三〇%を超えたため組み立てなどの工程を中国に移した。

大阪電気通信大と連携

■国民生活金融公庫 取引先企業への技術支援で大阪電気通信大学と連携した。企業からの技術相談を大学に取り次ぎ、専門知識を持った研究者を紹介する。大阪電気通信大は電子工学の研究陣が多く、同大との連携で中小製造業の支援体制を強化する。

民事再生法を申請

■紳士服メーカーのセンガメンズウエア(堺市、千賀莞尔社長) 三十一日、大阪地裁に民事再生法の適用を申請した。負債総額は約二十八億円。センガメンズウエアは一九七一年の設立。ピーク時(九五年八月期)の売上高は四十九億円だったが、紳士服の価格下落が響き近年は業績が低迷。海外での工場建設による借入金も膨らみ、資金繰りが悪化していた。

商店街出店者向け融資

■池田銀行 三十一日、池田市と協力して、市内の商店街に新規出店する中小企業向けの融資を始めると発表した。対象企業が支払う一年間の金利を、市が肩代わりして負担する。地元商店街に企業を呼び寄せ、地域の活性化につなげる。融資総額は五億円。

「技術評価」企業に融資

■尼崎信用金庫 三十一日、兵庫県の技術評価制度で技術力や成長性が認められた中小企業を対象に新たな融資商品「ひょうご中小企業技術サポート融資」の取り扱いを始めた。融資金額は最大八千万円で、原則として担保は不要。

奈良先端大に民間初融資

■南都銀行 三十一日、国立大学法人の奈良先端科学技術大学院大学に民間金融機関として初めて融資を実行した。融資金額は八十一億円で、期間は十四年一カ月。奈良先端大は借地になっっている現在の大学用地を購入する資金に充てる。

人事

造船部長、横田博(健康福祉部次長、高木浩夫(環境緑林水産部次長、坂本浩志(都市整備部次長、